

公益社団法人日本ダンススポーツ連盟

# 事務局通信

(TEL 03-6450-1850)

## 2024年6月度業務執行理事会(2024.6.22)概要

### 1. 近畿中四国(西部)PDブロック委員長の交代(西部PDブロック運営委員会)

2024年6月30日をもって、林栄治郎(現 西部PDブロック運営委員長)がその職を辞任することとなり、2024年7月1日より岡田大輔(現 運営副委員長)が西部PDブロック運営委員長に就任することとなりました。

なお、副委員長は、水田晃司(競技部長兼任)、早崎正剛(事務局長兼任)の2名です。

### 2. カエルカード個人取得に伴う年会費負担(財務委員会)

4月度業務執行理事会でカエルシステムの導入について決定し、送金回数の多い人の個人カード取得については、JDSFが入会金を負担することで積極的な取得促進を進めていましたが、月額手数料180円(年額2160円)が個人負担とされていたため、個人加入促進の障害になることが懸念されることから、年間手数料もJDSFが負担することとして個人取得の促進を図ることとします。カエルカード個人取得は入出金業務などのDX化・キャッシュレス化を進める本連盟の重要な基盤でありその効果が期待されます。

### 3. 国スポ大会に向けた加盟団体への支援方針(国スポ担当)

第5期国スポ実施競技選定が本年7月から始まり、来年11月には第86回鳥取大会(2032年)から第88回沖縄大会(2034年)までの実施競技が決定されます。

一方2028長野公開競技に向けて各都道府県連盟においては、ジュニア選手育成(少年の部)に向けた組織的な取り組みが未だ不十分な県連が見受けられます。また、公開競技への参加費用などの資金的な準備も必要になっています。

国スポ参加は、本連盟発足当時の悲願であり、長年にわたる各県体協加盟は、この国スポ大会への参加が最終目的でした。しかしながら、国スポ参加を目前に控え各県連盟のジュニア育成の遅れや財政面などの課題もあり、このままでは長野公開競技への特に少年の部選手が派遣できない県連がでてくるのが懸念されます。

2028年長野国スポまでに、県連のジュニア育成への取組みが促進され、さらには長野大会への選手派遣など国スポ大会への参加取組へのインセンティブとして、支援方針を全国代表者会議にて表明しました。

具体的な施策は今後検討していきます。

なお、第5期国スポ実施競技選定に関して県連への調査があった場合にはJDSF事務局にご相談ください。

### 4. ワールドマスターズゲームズ2027 関西NFメンバーミーティング(事務局)

6月18日に開催された表記ミーティングについての概要は以下の通りです。

#### 【概要】

1. 2023年の取組みと今後の展開

2. 2024年度の取組方針

大会の機運醸成、参加者確保

3. 今後のスケジュール(抜粋)

2024年度 機運醸成事業等の拡大

2025年10月 大会運営計画、競技実施内容の公表

2026年5月 エントリーの受付開始

2027年2月 WMG 関西大会 100 日前

(2月末)エントリー受付終了

2027年5月 WMG 関西大会の開催

会期:5月14日(金)～30日(日)

なお、ダンススポーツは、和歌山県で実施されます。

**【速報】** パリ五輪ブレイキン競技に男女各2名枠を獲得

6月22日、オリンピック予選シリーズ(OQS)最終戦となるブダペスト大会が行われ、以下の選手が五輪出場権を得ました。

女子 AYUMI(福島あゆみ)、AMI(湯浅亜実)

男子 HIRO10(大能寛飛)

すでに出場が確定している、Shigekix(半井重幸)と合わせて4選手の活躍が期待されます。